

産業応用フォーラム

「次世代モビリティ用モータ応用システムの技術開発動向と展望」

概要：近年、2050年カーボンニュートラル達成が世界的な目標として掲げられてきており、そのための対策や検討も様々な分野で盛んに進められております。その中で、モビリティの電動化、またそのキー技術であるモータ応用システム技術に対する期待はますます拡大傾向にあるといえます。モビリティの電動化においては、その搭載スペースの制約や航続距離の向上、燃費改善の要求などから、電動化機器の小型軽量化、言い換えれば高出力密度化が共通の技術課題として挙げられます。そこで、自動車技術委員会では、同委員会傘下に「次世代移動体用電動力応用システム技術」調査専門委員会を設置し調査活動を実施してまいりました。本フォーラムでは、調査専門委員会による調査結果を踏まえ、eVTOLなど航空機を含む次世代モビリティに向けたモータ応用システム技術の動向を中心に周辺技術の動向も含めて、幅広い分野の専門家により解説いたします。この機会にぜひご参加ください。

日時：2026年2月27日（金）13:00～17:00（10:30～見学会：トヨタ産業記念館）

会場：トヨタ産業記念館 ホールA 「現地開催（対面のみ）」

住所：名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

アクセス：名鉄名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分

TEL：03-3221-7312, **WEB：**<https://www.tcmiit.org/visit/access>

プログラム：

- | | | |
|-----------------|----------------------|---------------|
| 1. 13:00-13:05 | 開会、主催者挨拶 | |
| 2. 13:05-13:15 | 総論 | 山口 浩二 (IHI) |
| 3. 13:15-13:40 | 技術開発の動向と展望 概要 | 相馬 慎吾 |
| 4. 13:40-14:05 | アプリケーションとプロジェクトの動向 | 軸丸 武弘 (IHI) |
| 5. 14:05-14:30 | 小型軽量化・高電力密度化技術の動向と展望 | 加納 善明 (大同大学) |
| 6. 14:30-14:55 | 耐環境要求と技術課題の動向と展望 | 相曽 浩平 (芝浦工大) |
| | 休憩 | |
| 7. 15:15-15:40 | 材料・工法開発の動向と展望 | 中川 善也 (アイシン) |
| 8. 15:40-16:05 | 冷却・熱対策技術の動向と展望 | 満田 宇宙 (三菱電機) |
| 9. 16:05-16:30 | モータ構造技術の動向と展望 | 佐々木 幹人 (三菱重工) |
| 10. 16:30-16:55 | 質疑・総合討論 | 山口 浩二 (IHI) |
| 11. 16:55-17:00 | 主催者挨拶、閉会 | |

司会進行：山口浩二 (IHI) , 軸丸武弘 (IHI)

テキスト：電気学会技術報告 1593 号「次世代移動体用電動力応用システムの技術開発動向と展望」をテキストとして使用します。希望者は、電気学会電子図書館から各自で購入してください。会場での販売はいたしません。電気学会電子図書館：<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>

参加費： 会員(正員) ¥8,000- (税込) 非会員(一般) ¥10,000- (税込)

会員(准・学生員) ¥4,000- (税込) 非会員(学生) ¥5,000- (税込)

申込方法：下記フォーラム開催案内ページからお申し込みください。(締切：2月17日)

https://www.iee.jp/ias/d_event/iaforum/ ※会場定員 80 名で締め切らせていただきます。

問い合わせ先：株式会社 IHI 軸丸武弘 e-mail: [jikumaru9862 \(at\) ihi-g.com](mailto:jikumaru9862@ihi-g.com)

参加費支払い方法：Web からのクレジットカードのみのお支払いとなります。決済後は Web サイトにて領収書が発行されます

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会 (加藤委員長)

協賛：回転機技術委員会 (山本委員長), モータドライブ技術委員会 (長谷川委員長)

※見学会：同日 10:30 より、トヨタ産業記念館の見学会を実施しますので、ご希望の方は 10:30 集合になります。見学後、各自にて昼食を取っていただいた後、13:00 よりフォーラムを開始します。